

ま っ さ き に あ な た へ

ま(広)さ(報)き

www.town.masaki.ehime.jp Public Relations

Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.



特 集

平和のバトン

pick up

平成 23年度
まちの家計簿

家族のさすな

村上祐己さん 美幸さん 幸輝くん

Boys & Girls
Be Ambitious!

重川美那ちゃん・戎井佑見ちゃん

8

August 2012
No. 429

平和のバトン

終戦から67年の月日が流れ、戦争を体験した人が少なくなってきました。親から子どもへ、祖父母から孫へ、自分が経験した戦争体験を語り継ぐ機会も激減しています。いつまでも平和の重み、命の重み、それらを受け継いでくれた先人たちのことを忘れてはなりません。

今月は、戦争体験者の声や語り継ごうとする人の思いから、平和の尊さについて考えます。

戦争を知らない世代が、戦争の記憶を心に刻み、これからもずっと、つないでいけるように。

家族のきずな

皆さんから友人知人の家族をリレーでつないで紹介するコーナーです。お誘いが来たらぜひ登場してくださいね。



村上祐己さん 美幸さん 幸輝くん
(西古泉)

◎ Profile

むらかみ・ゆうき 会社員。これから挑戦したいことはカメラ。
松山市出身。25歳
むらかみ・みゆき 主婦。料理に奮闘中。西古泉出身。25歳
むらかみ・こうき 電車が大好き。1歳8カ月

西古泉に住む村上さん家族。1歳の幸輝くんは、わんぱくで、人懐っこい男の子です。母の美幸さんは「最近、主張できるようになってきたので、家は幸輝中心で回っています。テレビ番組も出掛ける場所も」と微笑み、幸輝くんの成長を喜んでいます。

父の祐己さんは、ごはん・お風呂・寝かしつけなどなど、育児にとっても協力的で、美幸さんは「優しいパパに助けてもらっています」と感謝します。そんな美幸さんのことを祐己さんは「明るくて笑顔の絶えないママ。最近、料理を頑張っています」とにっこり。「料理が苦手で。実は今までは近くに住んでいた両親に甘えて、あまり作っていなかったんです」と美幸さんは恥ずかしそうに笑います。「やっぱり作ってくれるとうれしい」という祐己さんの言葉に、「パパも幸輝も食べっぷりがよくて、私もうれしい」と笑顔を見せます。

「3人でお出掛けをするときや、川の字になって寝ているときが幸せ」と話すご夫婦は、「このままずっと家族みんなが元気で、笑顔でいられたら」と話していました。

今回は、知人の藤谷明宏さん家族をご紹介します。

Contents

02 家族のきずな 村上祐己さん・美幸さん・幸輝くん

03 特集 平和のバトン

14 平成23年度 まちの家計簿

16 まさきのecology生活

18 Monthly Topics 町内小学校水泳記録会/社会を明るくする運動ほか

22 まちのわだい 自転車愛媛県大会/七夕夏祭り交流会/黒田保育所夕涼み会ほか

24 News 職員採用試験/国民健康保険/町有地売却/指定管理者募集ほか

30 消防署だより

31 Information ソフトボール大会/地球温暖化防止推進委員/消費力アップ通信ほか

32 公共施設からのお便り 図書館/包括支援/公民館

34 Smile & Smile 1歳です よろしくね/食育メニューコンクール入賞作品レシピ/
Boys & girls Be, Ambitious! 重川美那ちゃん・戎井佑見ちゃん/
ふるさと歴史散歩

36 行ってこーわい 会ってこーわい まさきふれあい市



表紙

由井聖仁くん、安達陸斗くん、畦地智哉くんは宗意原保育所の5歳児さん。抜けるような青空、じりじりと焼き付けるような日差しを全身で感じながら、夏の海を楽しみました。(7月18日・北黒田海岸)

●表紙の“Glistening water, smiling faces and a comfortable town to live. Masaki.”はキャッチフレーズの「水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさき」です。

戦争を体験した人
語り継ごうとする人の
思いに触れたことで
高めた平和への思い



木村野乃花ちゃん



白石泰晟くん

私は、この伊予地区が大きな戦争に巻き込まれていたのびびっくりしました。男の人が戦争に行くのを送っていくお母さんの気持ちがよくわかりました。ここにも飛行機が来て爆弾を落として、たくさんさんの命が消えていってとても悲しい気持ちでいっぱいでした。人の命はもっと大事にしようと思いました。

昌農内で戦争があったことを初めて知りました。こんな話をまわりの大人は話してくれなかったので、紙芝居してくれたことに感謝します。今度は自分たちが子どもたちに戦争のことを伝えていきたいです。ほくらも戦争について深く考えてみようと思います。戦争を止めるために何ができるかを考えてみます。



高田瑚弓ちゃん



窪田安晃くん



三ツ井優生ちゃん

昔の人は、いつばくだんを落とされるか分からず、いつも恐怖に包まれていたのだと思うと昔の人ってすごいと思いました。戦争している時は食べ物がありません、食べるとおなかですぐにふくらむさつまいもなどを、子どもでも自分で育てて食べるというのを聞いて、今の自分の幸せを重く感じました。

話を聞いていろいろなことを感じました。一つ目は、死んでいる敵兵士に石をなげつけたことです。普通だったら助けてあげるのに、けったりするの、それだけ家族のことがあって悲しかったんだと思います。二つ目は、戦争はおこしてはいけないということです。いろいろな人が死んでしまつて、戦争はやってもいいことはありません。

今まで広島、長崎のことばかり考えていて、自分たちがいるところまでは調べていませんでした。戦争から60年しかたっていないのに、今はこんなにみんな幸せでいられるっていいことだと思いました。日本のことだけでなくほかの国のことも考え生活していきたいです。紙芝居であった戦争で亡くなった人のお墓にも行ってお祈りをしたいです。

子どもたちは、平井夫妻の話、戦争体験者の声から、戦争の悲惨さや悲しみを身近に感じました。そうすることで、平和の尊さを考え、平和を願う気持ちを高めたのです。そして、平和を願う気持ちの高まりは、子どもたちの心に「自分が平和を伝えていきたい」という思いを芽生えさせたのです。

平和への思いは今、学習を通じて子どもたちへとバトンパスされました。

白石泰晟くんは「今度は自分たちが、子どもたちに戦争のことを伝えていきたい」と思いました。

戦争を知らない子どもたちですが、話を聞き、「かわいそう」「怖い」という感情で終わってはいません。

平和の尊さを実感

子どもたちの感想文から見えるのは戦争体験の風化だけではありません。そこにはたくさんさんの「平和の大切さを実感した」という言葉がありました。



子どもたちの心に 芽生えた思い

戦争体験者の話は私たちに何を伝えるのでしょうか。
平和学習をしている小学6年生の子どもたちから考えます。

1_6月4日、岡田小学校で紙芝居を使って戦争体験を伝えた平井夫妻 2_紙芝居の1コマ。戦争に出かける軍人さんを岡田駅で見送る様子 3_食べ物がないと、イナゴを食べたり、運動場を耕して芋を植えたりした 4_日本の輸送機が岡田小学校の校舎すれすれを飛び越し、河原へ不時着



「戦争は、この田舎でも現実としてあった。『昔のこと』で終わるわけにはいかん」
屯さんはそんな思いで、自身が小学2年生のころに見て感じた戦争の話、伝え聞きした話を、子どもたちにも分かりやすいように紙芝居にしました。紙芝居ができたのは11年前。当初は、昌農内の行事などで話をするだけでしたが、いつしか広がり、こうして小学校で話すよう

町内の小学6年生は、総合学習の時間を使って「平和学習」に取り組んでいます。修学旅行で広島に行く6年生が、修学旅行を通して、広島島の原爆に関心をもち、進んで調べ、戦争の怖さや平和の尊さに気づく学習です。

岡田小学校では、数年前から戦争体験者が語り部となつて、戦時中の様子を子どもたちに紹介しています。6月4日、語り部として岡田小学校に招かれた昌農内の平井屯さん・千代榮さん夫妻。自作の紙芝居を使って、昌農内の戦争と暮らしについて語りかけました。

紙芝居を見た後、子どもたちは感想をつづっています。その中で多くあるのは「松前で戦争があったことを初めて知りました」という感想文です。

教科書では戦争のことを学びます。広島と長崎に原子爆弾が落ちたことも知っています。それでも戦争はどこか遠くでの出来事、はるか昔の出来事として映っていることも確かです。

戦争体験の風化

それは「戦争体験の風化」を意味します。終戦から67年の月日が流れ、戦争を体験した人が少なくなつてきた現代。戦争体験者の高齢化も進んでいます。

子どもたちは戦時中の話に真剣な表情で聞き入り、平井夫妻が今に訴えかけるメッセージを胸に刻みました。

子どもたちは戦時中の話に真剣な表情で聞き入り、平井夫妻が今に訴えかけるメッセージを胸に刻みました。

平和と希望をつなぐリレー

激動の時代を生き抜いた人たちの心には、戦争の記憶が消えることなく残っています。
語り継いできた先人たちは今の平和を実感し、この平和な日々は先の戦争への反省の上にあると知っています。
私たちもその思いを後世につないでいかなければなりません、バトンはつながっているのでしょうか。
語り継ごうとしている人の話から考えてみましょう。



遺族会代表（83）・徳丸
八束兼福さん

戦争の悲惨さ 平和のありがたさを 次の世代に語り継いで いくことが使命

戦争で命を捧げた英霊は、本町で742柱以上。
残された遺族らは「遺族会」を組織。
英霊の御霊を慰め、平和を希求する。
しかし近年、世代交代などにより
遺族会の組織率は次第に低下。
「国を守った英霊たちのため、歴史を風化させてはならない」
町遺族会の八束兼福会長は胸に秘めた思いを熱く語った。

戦

後間もなく、県下全域的に遺族会の結成が進み、松前、北伊予、岡田でもそれぞれ遺族会が組織されました。遺族会は▼尊い命を捧げた英霊の供養▼戦争のない平和社会の構築—などを目的に活動が続けてきました。昭和30年には3校区の組織が合併。新たに「松前町遺族会」として活動しています。現在、会員は約705人です。

まず、活動を停止した状況です。私たち会員は、このままでは歴史が風化してしまうのではないかと危惧しています。子どもたちに語る機会をつくり、後世に語り継いでいかなければと思っています。

年に1度、町のご好意で戦没者合同慰霊祭を行っていたのですが、申し訳ないほど参列者が少ないのです。国の安泰を願って、英霊は命を捧げました。その精神に感謝し、手を合わせることは、遺族でなくても必要だと思っています。

742柱の英霊を慰めるため、今年も慰霊祭が開かれます。一人でも多くの皆様に参列していただきたいと思っています。



平成 24 年度戦没者合同慰霊祭

日時 9月11日（火）受付9時～
式典9時30分～
場所 松前総合文化センター2階
ふれあい展示室
☎ 福祉課障がい福祉係 ☎ 985-4155

第

5集のテーマを決めるころ、「早い機会に戦争についての記録を残しておいてほしい」との声が地域の中で高まっていました。その声が、「もう数年したら戦争について聞ける人がいなくなってしまうんじゃないか」という編集委員の思いと重なって、すぐに「戦争」をテーマにすることが決まりました。

作業としては、編集委員が見たり聞いたりしたことを書いていました。もはや風化してしまいうような戦争についてまとめることは実に変な仕事でした。編集委員の皆さんは一生懸命聞いて回り、書いてくれました。「館長、このときはどうしたらええ？」と相談の声が絶えませんでした。それだけ編集に携わる皆さんには強い思いがあったのです。

「もう遅い。聞きに行っても話ができる人がおらん」と言う編集委員の不満の声も聞かれました。戦争体験が風化してしまいつつあるということを実感したときでもありました。

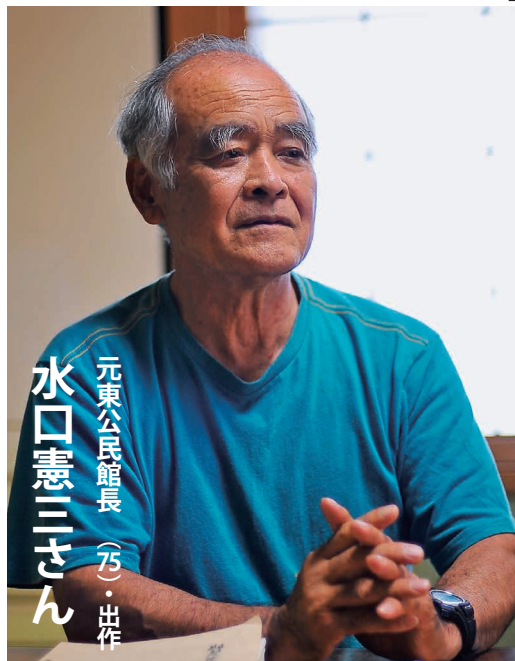
発行後は、地域の方々から久しく待ち望んでいたものができ



戦争をテーマとして編集し、平成12年3月に発行された「北伊予の伝承」

「戦争についての記録を残してほしい」という声の高まりを受け 北伊予の伝承で「戦争」を特集

北伊予の伝承を学び伝えようと、各地区で推薦された20余名の編集委員によってテーマを決め、作成され続けている本がある。「北伊予の伝承」だ。
昭和63年3月に初刊され、平成24年3月には第11集が出版されている。
その第5集では、「戦争」をテーマに取り上げた。編集に携わった水口憲三元東公民館長に聞いた。



元東公民館長（75）・出水口憲三さん

まわないうちに、語り部的なもので若い人に伝えたいことを残そうと取り組みました。なぜなら、あのような苦しい生活を乗り越えて、現在の豊かな生活ができる基礎を作ってくれた先人たちの努力を決して忘れないために。

第5集は、戦争について身近なことがよくわかるといって、各小中学校でよく活用していただきました。関係者としてはこの上ない喜びでした。

この町に残る戦争の記録 忘れられない傷痕

昭和20年8月15日の終戦を迎えるまで、政府は、人々を戦争に協力させるために戦時体制を強めていきました。戦時中の暮らしは全て戦争のために制限されました。当時の松前町の様子を振り返ります。

莫大な犠牲を出した戦争

昭和12年に勃発した日華事変が長期化してきたことから、日本は完全な戦時体制に入り、昭和16年12月、第二次世界大戦に突入しました。この戦いこそ未曾有の大戦で、人的にも物的にも莫大な国力を消費しました。

町内でもこの戦いに応召して、戦死または戦傷病死した人は600人近くに及びます。町内の英霊は、義農神社境内の忠霊塔に合祀されています。日清戦争以後の困難に殉国された計742柱です。

ほしがりません勝つまでは

戦時中は、食料、衣服や燃料など、生活に欠かせない物

も自由に手に入れることができない耐乏生活。松前町の店頭にも「マツチ・砂糖・清酒・木炭・肥料など切符に願います」という張り紙が出され、切符なしでは、買うことができませんでした。それでも人々は「欲しがりません勝つまでは」というスローガンを心に銘じ、この耐乏生活が戦勝につながる道と信じ、不自由な生活に耐えていました。

昭和17年ごろからは一段と物資の入手は窮屈に。化学肥料の激減、動員による農村人口の減少などは、農業生産力の減退をもたらしました。未婚の女子は女子挺身隊として軍需工場に、小学校児童までも増産につとめました。

開墾作業、農家の手伝い、松やにの採取など、松前―郡中の数百年を経た300本近い松並木は伐られ、芋畑になりました。

勝つための教育

第二次世界大戦時は、急速に戦時教育が取り入れられ、教育は小学生まで「戦争に勝つため」のものへと変わってしまいました。

昭和18年後半には、食糧増産の目的で、運動場の半分を畑にして大豆やサツマイモなどを植えていました。19年の後半から20年の前半にかけては、毎日のように空襲警報が発令され、勉強どころではありませんでした。終戦までの

人生を変えた戦争、未だ訪れない心の終戦。

終戦を過ぎてもなお心の傷が癒えることはありません。

戦時中の暮らしぶりや、戦争で抱え、胸にとどめた記憶を語っていただきました。今、あなたに平和のバトンを渡します。

私

が22歳のころ、昭和15年1月4日に3歳年上の夫(重忠さん)の元へお嫁入りました。8月、動員が来て主人は訓練へ。翌年4月、子ども(静子さん)が生まれる1週間前に戻り、生まれた時はうれしそうに抱いてくれました。

9月、夫は出征することになりました。そのころは、防諜のため派手な見送りは禁止されていたので朝4時に出発。

松山までは、父が付いて行きました。私も静子を抱いて門のところまで出て見送ったら、主人が戻ってきたので「どした

んですか?」と尋ねたら、「もっと遠くまで送ってくれるんじゃないんか」って。それから、主人は戻ってきました。

戦地のニューギニアに子どもと一緒に写った写真を送りました。主人からはたくさんの手紙が届きました。いつも「静子を頼む」「家を頼む」と書いてありました。ひたすら無事を祈り、娘やみんなを帰りを待ちました。

18年の6月、その日は雨が降っていました。父と田に行っている、ひいおばあさんが裸足で走ってきて、父に何か

二人の葬式を一緒にしました。子どもを二人亡くした両親の心の悲しみはどれほどでしょう。

私には主人の死の実感がありません。今でも元気でどこぞにおる気持ちです。

私の里からは「戻ってこい」と言われました。私は戻りませんでした。手紙に「頼む頼む」と書いた主人のことを思うと、ええ帰らんかったんです。

戦争は絶対にしてはいけません。残るのは悲しみだけですから。

一度大変怖い思いをしました。私が母と田んぼに行っている時、空から艦載機がパンパンと弾を落としてきました。田んぼに出ていた人が「危ないけんはよ橋の下入れ」と叫んでいました。でも母は足が悪く、田んぼのど真ん中。二人でその場に伏せました。艦載機が去ると、「大丈夫か?」とみんなが走ってきてくれました。

学校日誌には次の様な記事が多くあります。

▽運動場・校庭空地に大豆まき(北伊予)▽青少年義勇軍入隊(岡田)▽職員の出征(松前)▽空襲のため初三以下は集会所などで授業(松前)▽校庭でのいも作り(岡田)

松山空襲の余波災害

昭和20年、空襲は熾烈となり、重要都市は壊滅的な被害を受けました。中でも7月26日夜の松山空襲は、米軍B29爆撃機が松山市を爆撃。市内から大勢の人が避難してきました。松前町の空襲による被害は軽微でしたが、有形無形の被害は計り知れないものがありました。

「静子を頼む 家を頼む」

拡がるばかりの戦線。徴集されていく人々。

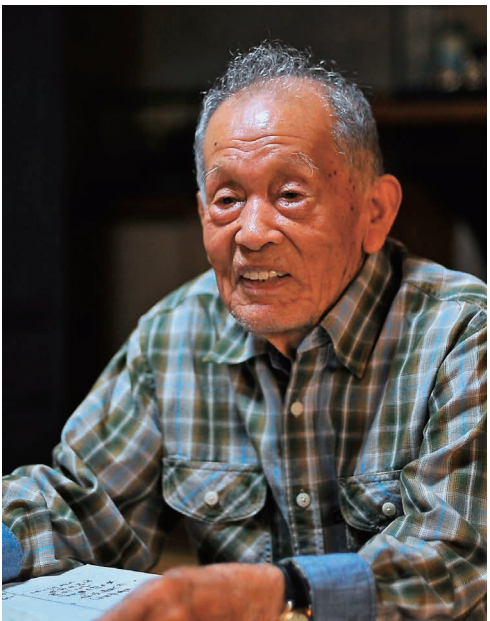
中川原の本多幸子さんの夫・重忠さんもニューギニアへ。「今でも元気でどこぞにおる気持ちです」と話す本多さん。夫へ寄せる数々の思い出と戦時中の暮らしぶりを回想する。

◇語り部

本多幸子さん
(92)・中川原



義農神社境内にある忠霊塔。戦没者742柱が祀られている。昭和31年12月建立



◇語り部

今井善範さん (91)・西古泉

今でも毎日 戦友のことを思う

祖国への帰還を夢見て
異国の地で命果てた多くの若者がいた。
終戦以降も、多くの兵士は捕虜となり
世界各地の収容所で耐え難い苦勞を重ねた。
戦地ビルマで多くの戦友を失った今井善範さん。
忘れられない思いを歌に詠み続けている。

赤紙を受け取る父の手の震へ
今も忘れむ征きて還りぬ

昭和17年8月17日、父が私宛の赤紙を受け取りました。父の手は震えていました。

善通寺に入隊し、丸亀港を出港。広島から上海、シンガポールを経て、激戦地ビルマへ。19年4月29日、インパール総攻撃の戦に参加しました。

戦地のビルマ（現ミャンマー）に着いたとたん最前線で激戦でした。19年以降は消耗戦でやられっぱなしです。ビルマの山は実に険しく、日本人が入ったって、アリみたいなものです。米軍と日本軍では兵器、装備、補給の差が歴然でした。米の軍隊は、インパールに行くまでは皆殺しにする計画でした。戦場では敵を殺さないで自分が死ぬ。人間の感覚ではありません。「今日こそは危ない」と毎日思いました。私たち軍人は捕虜になるわけにはいかなので「もしもの時はそれで死ぬ」と手りゅう弾5発を与えられていました。戦地では多くの戦友が家族の名を呼びながら死んでいきました。ビルマには45万人

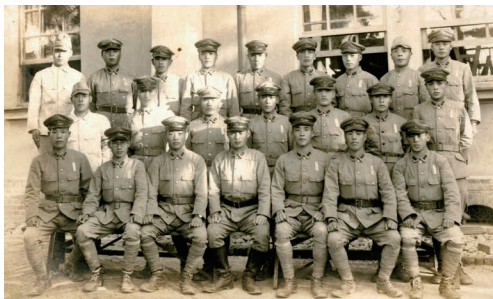
が行っていましたが、18万人程が亡くなりました。

激戦地インパールより復員し
米作らんと父の手握る

コヒマで日本の敗戦を知りました。信じられませんでした。武装解除になり、鉄砲も剣も連合軍に渡し、捕虜となりました。1年ほど道路工事など現地で働きました。それから復員の命令がくだり、バンコクへ集結。復員船に乗って、横須賀に帰りました。昭和21年7月1日のことでした。烏谷上等兵と一緒に岡田の駅に着いたとき、ちょうど田植えの時期で、我々は米を作りに帰ったんだと思いました。

我が子抱く写真をみせし戦友は
ビルマの山に骨になりたり

日本国民は天皇に命を捧げなければならぬという教育で、戦死も覚悟していました。けれど、生きて帰りたいというのが正直なところでした。今でも毎日戦友のことを思い出します。自分がかまわないけれど、戦死した戦友のこと



善通寺で訓練を受け、戦地に行く前に隊員らと撮った写真。昭和18年10月ごろ

を思えばつらい。生還した喜びよりも、戦友を失った悲しみのほうが強かった。あまりにも多くの友が死にすぎました。祖国を守るために死んでいった彼らの思いを無駄にしないためにも、次世代の人たちに今の平和をしっかり引き継いでほしいと思います。

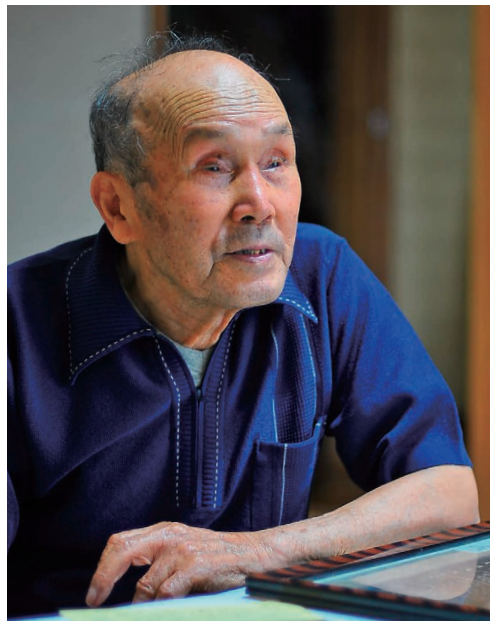
25年程前から、戦争の歌を詠むようになりました。日記もつけています。戦友の冥福を祈らずにはいられません。（日記より）ビルマ戦

インパール作戦に参加。お昼に湯割り多めにいただきました。頭に浮かぶビルマ戦に散った戦友（友のおかげ）今、日本は平和だ。

誰にも言わなんだ。 でも今は 私の思いを伝えたい。

人間が魚雷に乗り込み、自ら操縦して敵艦に突っ込む人間魚雷「回天」。
上高柳の清積勲四郎さんは、回天を搭載した潜水艦の乗組員だった。

彼の乗った日本軍「伊号第58潜水艦」は
広島・長崎に落とされた原子爆弾の部品を運んだ米軍のインディアナポリス号を沈めた。
体験者でなければ知りえない多くの出来事を語った。



◇語り部

清積勲四郎さん (84)・上高柳



清積さんが乗っていた「伊号第58潜水艦」

旧 日本海軍の潜水艦学校を経て終戦の半年前、「伊号第58潜水艦」に配属された。艦長には「潜水艦は海に出たら即戦争だ」と教えられた。

当時17歳。乗組員の中で1番若かった。普段の仕事は士官室での給仕。いざというときはバルブを開閉する配置についていた。

昭和20年7月18日、山口の平生基地で回天の乗組員6人を積んで沖縄南方海域へ。7月29日夜、真つ暗な中浮上すると、三日月をスポットライトに航海長が偶然黒い点を見つけた。敵の船と判断。すぐに潜った。魚雷と回天を準備した。回天の乗組員は洗脳されているかのごとく「自分に沈めさせてください」と艦長に頼み込んでいた。回天の潜望鏡レンズは昼間用で当たらない可能性が高い。艦長は命を無駄にはできんと言って魚雷を打った。命中。インディアナポリスは沈んだ。この船が原爆の部品を運んだ帰りであったことは戦後に知った。



昭和20年8月20日、呉に帰着したとき。解散前に伊号第58潜水艦の前甲板で撮影

8月10日、沖縄へ物資を運ぶ輸送船団を見つけ、魚雷を6本出した。潜水艦がいるのに気づかれ、駆逐艦に攻撃され、我々の船は1日半沈んでじっとしていた。海水は入る、ガスは漏れるで窒息死しそうになる。もう酸素が底を突き、浮き上がらなければならなくなった。浮き上がった時点でどうなるかわからない。艦長は「わしらもここで死ぬのなら、回天も名誉の死を遂げろ」と皆で覚悟を決め、浮上。発進した2基の回天が1隻に当たったおかげで、残りの駆逐艦が逃げた。

終戦を知ったのは8月16日だった。8月20日、呉に帰った。死を覚悟していたが、伊58号は沈まず生き残った。年月が経つにつれ、特攻隊員たちが

どういう気持ちで出撃したかが気になった。戦友の集まりも艦長が亡くなり、途絶えた。平成4年からは毎年3月、基地のあった大津島で慰霊祭を行っているが、参加者は減少。今年にはわずか3人だった。5年前、せめて自身で行ける範囲で県内出身の回天特攻隊員の墓を巡ろうと思い、2人の隊員の墓前で「日本を守ろうとしたあなたの思いは忘れない」と伝えた。

それから、思い出されるのは母の思い。海軍の潜水艦学校に入學するとき、見送ってくれた母は何も言わなかったけれど、手を振り続けていた。今思えば、兄も戦争で亡くしたし、母はどんな思いだっただろう。

2年前、伊58号をモデルにした映画ができたとき、初めてひ孫に話した。それまで兄弟、子どもにも話したことがなかった。本当に誰にも言わなんだ。でも今は私の思いを伝えたい。

当時は教育で、こういう戦いは正義だと教えられた。回天の乗組員をはじめ、アメリカ軍の遺族も同じだと思うが、今思えば、間違っていたと思う。戦争だけは絶対にやめてほしい。

若くして散った特攻隊員 としまさ 松前町出身の林憲正海軍少佐

死を覚悟して敵艦に突っ込む特別攻撃、通称「特攻」。太平洋戦争末期の約10カ月間、特に沖縄防衛戦では、陸海軍ともに特攻隊が大量投入されました。航空機による戦死者は約4千人、人間魚雷「回天」、水上特攻艇「震洋」などを合わせると5千8百人以上になると言われています。

片道分の燃料で飛び立ち、戦死していった特攻隊員たち。その中に、松前町徳丸で生まれ育った林憲正海軍少佐がいました。

林憲正海軍少佐の遺稿（日誌）から一説を抜粋して紹介します。



林 憲正 海軍少佐

四月十三日

…残された者たちよ、強く誇りを持ってそして勇ましく喜んで死んで行った勇士たちの名を恥かしめぬよう、生きて下さい。

七月三十一日

今日こそ出撃の日である。我が流星隊八機の特攻攻撃の日である。…飛行場へ来ると私達の飛行機に搭載すべき品々がきれいに整理されて置いてある。昨夜身につけるものもすっかりかえた。母上の送ってくださった千人針も腹に着けた。弓立の小母様の下さった新しい純白のマフラーも用意した。私の身の廻りにある最上等のものを身につけたわけだ。出撃命令をいまかいまかと待ちながら、ただひとり防空壕に入ってこれを記している。

父上、母上はじめ兄弟姉妹、その他親戚知人の皆様、さようなら。お元気でやって下さい。私は今度は「アンデルセン」のおとぎの国へ行ってその王子様になります。

そして小鳥や花や木々と語ります。

大日本帝国よ、永遠に栄えんことを。

八月三日

快晴の夏がつづいて俺は未だ生きている。あの日、敵機動部隊は姿を消してしまったのである。…

八月九日

敵機動部隊が再び本土に近接して来た。一時間半後に私は特攻隊としてここを出撃する。秋の立った空はあくまで蒼く深い。

八月九日！ 私は新鋭機「流星」を駆って、アメリカ空母に体当たりするのである。ご両親はじめ皆様さようなら。戦友諸君、ありがとう。

八月九日、神風特別攻撃隊第七御楯隊第二次流星隊で出撃、本州東方海上にて戦死 25 歳

次から次へ散った 若い命 大事な命



済川さんが操縦していた艦上攻撃機「天山」

海軍航空隊に入隊。壮絶な戦いの中で、仲間と運命を分け合った済川裕さん。

「若い者の命を弾に使ったことは許されん。

そう思う。強く思う」と訴え

「生きている人が亡くなった人を顕彰してあげないかんのだと私は思うのです」と力を込める。

私

は昭和18年9月、13期海軍飛行科予備学生に合格。海軍航空隊に入隊しました。基礎訓練、操縦訓練をして、翌年8月に実施部隊として台湾の東港に航空隊の教官として配属され、船団護衛をしていました。

フィリピンのレイテ海戦のときに、満州にいた関東軍をレイテ島に送りました。送った船団はレイテで大敗しました。海軍も関東軍もひどい目にやられました。レイテで残っていた航空母艦もやられました。大和も



昭和19年8月に台湾へ行く前、自宅で撮った家族写真

武蔵もレイテでやられました。あるとき、戦争は決まっていたように私は思います。昭和18年から、アメリカは弾が当たっても貫かないような、零戦以上の飛行機を作りました。戦闘機が集団で来たら、いくらこちらに零戦があってもひどい目にやられました。10月、アメリカの機動部隊が来て、台湾も高雄も飛行機が焼かれてなくなりました。飛行機がないと仕事ができません。「台湾にいて用事がないなら引き返せ」という司令が出て、残った飛行機5機ほどで、整備員と搭乗員ら20人ほどが先に帰りました。私は責任者を任されていたため、皆を送ってから最後に帰ることになりました。

飛行機のない残りの搭乗員、

整備員ら120人は、台湾基地で輸送船を待ちました。昭和20年3月、聖川丸（元水上母艦）と陸軍が乗った日光丸に乗って日本に向け出港。魚雷にやられないよう、中国沿岸伝いに青島によって帰国したため、何日もかかりました。共に出た日光丸は4月5日、魚雷攻撃で沈められてしまいました。

私の乗った聖川丸は、魚雷攻撃を受けて艦尾の吹きとんだ護衛艦を曳航して門司に帰着。石川県小松海軍航空隊へ帰ってきました。

思えば、残された飛行機5機で先に帰るかどうかが運命の分かれ道だったように思います。先に飛行機で戻った人は、特攻隊として鹿児島に行き、全員が戦死しています。鹿児島鹿屋、串良の基地からは連日体当たり攻撃の激戦が行われていた一方で、後で戻った私たちは、小松航空隊で待機・訓練続投をしていましたが、飛行機不足のため飛び立てずにいました。

8月15日、私は小松で終戦を迎えました。私は運が良かったのです。戻ってくるときも、戻って来ても。飛行機がな

かったから、突っ込まずにすんだのです。私の後の14期生は飛行機がなくなつて人間魚雷回天に乗りました。ああいう戦争をいつまでも続けたことが問題だと思うのです。戦死した人のために最後まで戦い抜いたというのもあるのかもしれませんが、早めにやめていたら、被害が少なくて済んだはずという思いがぬぐいきれません。

戦争で、若い者の命、大事な命が、次から次へと失われていきました。特攻隊の飛行機には行きの燃料しか積んでくれません。帰ってくるなということです。その頃は潔く死ぬのがよいとされていました。そうじゃない。大事な大事な命だから、若い者の命を弾の代わりに使ったことは許されん。そう思う。強く思う。

北伊予出身の大先輩で海軍飛行専修予備学生同期の林憲正様も、特攻隊として戦死されました。彼の日記にはその直前までの心の叫びがづづられています。

生きている人が亡くなった人を顕彰してあげないかんのだと、私は強く思うのです。

地方債現在高

年度を越えて償還する借入金を地方債と言います。23年度の地方債残高は、22年度から2億6,577万円増えて184億3,798万円となっています。

	現在高	前年度対比
地方債現在高	184 億 3,798 万円	+ 2 億 6,577 万円
一般会計	105 億 6,611 万円	+ 1,074 万円
内 公共下水道事業特別会計	50 億 9,142 万円	－ 2,998 万円
水道事業会計	27 億 8,044 万円	+ 2 億 8,501 万円

特別会計

特定の事業を行うために一般会計と別に経理する特別会計と、独立採算制をとっている水道事業の企業会計のうち、単年度の事業運営に係る収益的収支は黒字でした。

区分	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	34 億 2,109 万円	33 億 3,109 万円
公共下水道事業特別会計	5 億 9,802 万円	5 億 8,391 万円
介護保険特別会計	23 億 7,099 万円	23 億 4,614 万円
後期高齢者医療特別会計	3 億 4,880 万円	3 億 3,685 万円

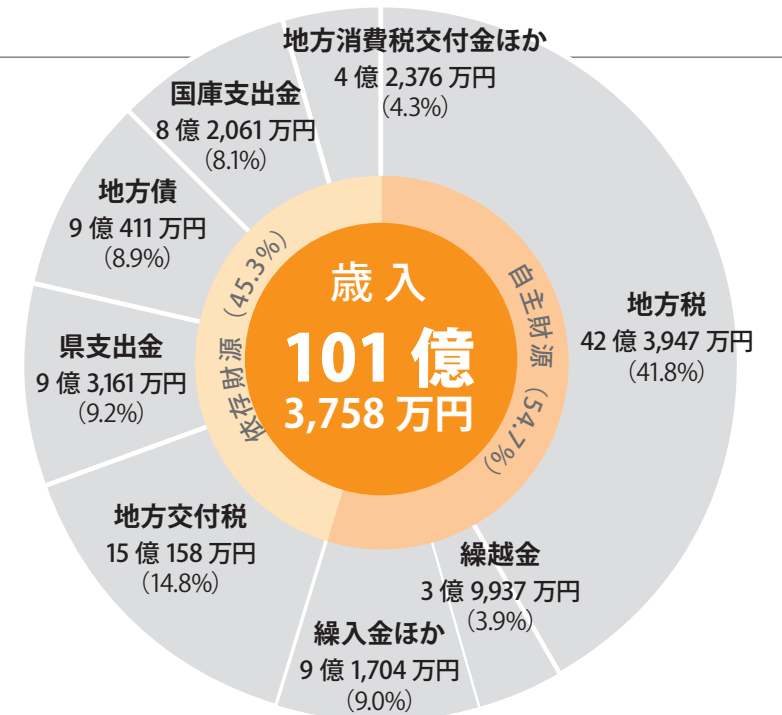
区分	歳入	歳出
水道事業会計	収益的収支 3 億 5,587 万円	3 億 1,348 万円
	資本的収支 4 億 5,298 万円	5 億 2,475 万円

一般会計歳入

一般会計の歳入は、101億3,758万円でした。22年度に比べると、3.3%増加しています。

主な理由は、地域密着型特別養護老人ホーム(民間) や児童保育施設(民間) の建設工事を支援する県支出金が増えたことによります。

また、財源の内訳は、町でまかなう自主財源が54.7%、国や県に頼った依存財源が45.3%で、22年度とほぼ同水準でした。



財産

町の財産には、土地などの不動産、有価証券などの動産と、9の貯金である基金があります。

基金は、法律や条例に基づいて、特定の目的のために積み立てています。23年度末の基金の合計は、19億7,738万円です。

	現在高	前年度対比
土地 (㎡)	422,004	+ 20,931
建物 (㎡)	109,806	－ 1,768
山林(町有林) (㎡)	1,000	± 0
有価証券 (千円)	3,417	± 0

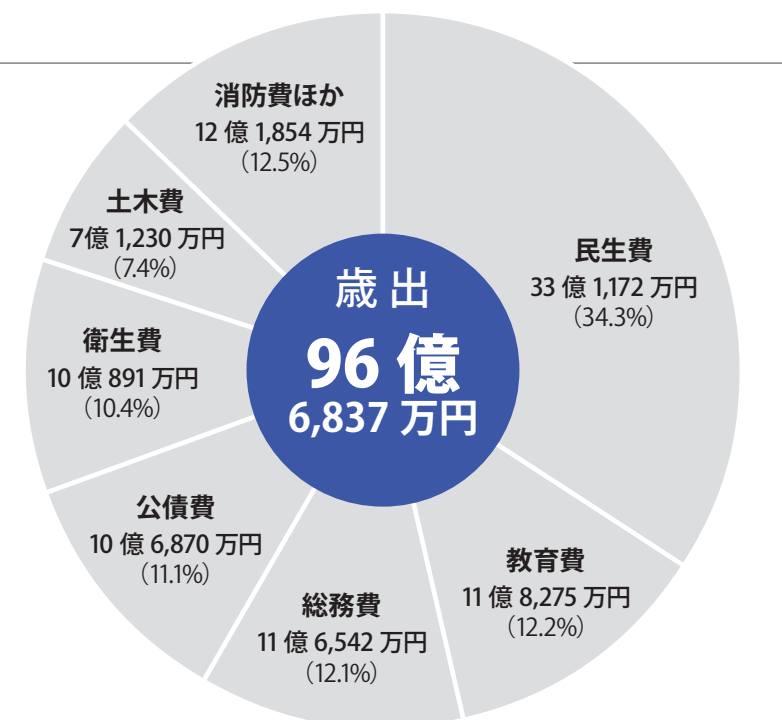
基金名	現在高	前年度対比
財政調整基金	6 億 3,324 万円	－ 1,606 万円
町債償還基金	3 億 1,751 万円	－ 1,910 万円
土地開発基金	3 億 8,321 万円	+ 41 万円
大規模地震災害対策基金	2 億 452 万円	+ 3,073 万円
地域福祉基金	1 億 7,644 万円	－ 9,277 万円
用品調達基金	200 万円	± 0 円
ふるさと・水と土保全対策基金	0 万円	－ 1,030 万円
国民健康保険財政調整基金	5,149 万円	－ 2,596 万円
介護保険事業運営基金	2 億 894 万円	－ 3,468 万円

一般会計歳出

一般会計の歳出は、96億6,837万円で、22年度に比べると、2.7%増加しています。

主な理由は、集中的に実施した小中学校の耐震補強工事に要する支出が増えたことによります。

23年度の歳入との差引きは、4億6,920万円の黒字でした。



※1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

問 財政課財政係 ☎ 985-4101

夏の節電に取り組もう

【電気製品を節電型に】

●エアコン

- ・温度設定は 28℃を目安に
- ・フィルターは 2 週間に 1 回を目安に清掃

●テレビ

- ・画面設定は「標準モード」や「リビングモード」に
- ・省エネモードのある製品は設定する

●照明

- ・白熱電球を同じ明るさの蛍光灯や LED 電球に交換する
消費電力は 1/4 ～ 1/6 になります。発熱も抑えられるので、冷房の負担も軽くなります。寿命も大幅に延びます。

●冷蔵庫

- ・温度設定を「強」から「中」に
ただし食品の傷みにはご注意ください

【生活習慣を節電型に】

●長時間の保温にいませんか？

- ・炊飯器や電気ポットでの保温は避ける

●スイッチを入れっぱなしにいませんか？

- ・人がいない部屋のエアコン、照明などはこまめに消す
- ・パソコンは長時間 (90 分程度以上) 使わないときはシャットダウンする
シャットダウンしない場合でも省電力設定を活用しよう

●待機時の消費電力を減らしていますか？

- ・リモコンの電源だけでなく、本体の主電源で切る
- ・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く

スプレーやカセットボンベの缶を ごみに出すときは必ずガス抜きを！

埋立ごみの収集中に爆発し、火災の発生する事故が多発しています。

ごみ出しの際は、中のガスを使い切るか、火気の無いところで穴を開けてガスを抜いて、金属類の日（アルミ・スチールマークのあるものは、かん類の日）に出してください。

☎町民課ごみ対策係 ☎ 985-4117

犬・猫の死体処理について

私有地（自宅・駐車場など）で犬や猫が死亡したときは、敷地の管理者が処理することとなります。

犬や猫の死体は、①ペット霊園で処理する ②可燃ごみ指定袋に入れて、可燃ごみの日にごみ集積場に出す ③収集業者に依頼するなどの方法で、土地の管理者の責任で処理してください。

☎町民課ごみ対策係 ☎ 985-4117



●7月15日 自然観察会

松前町庁舎で松前町まちづくり塾の平井屯先生と高橋昌志先生から松前の自然について話を聞いた後、ピオトープエミフルで、水生生物や昆虫を採取しながら地域の自然環境を守ることの大切さを学びました。北伊予小学校 4 年の中川颯太くんは「生き物を観察するのが大好きで、今日を楽しみにしていました。ジャンボタニシをいっぱい捕りました」と笑顔で話していました。

利用しよう 資源ごみ集団回収活動

❖ 資源ごみ集団回収活動とは

地域住民で構成する団体（非営利、原則 20 人以上）が、資源物を決まった回収日・場所に集め、回収業者に引き渡す活動（年 2 回以上の実施が必要）です。

町は、回収量に応じて、奨励補助金を交付しています。
※事業活動に伴うごみは対象外です。

❖ 町内の活動状況

現在 28 団体が活動しています。団体からは「先進団体から指導を受け参加率を向上させたい」（徳丸環境部）、『「地域の人とつながっていききたい」』『何年後かにはハンディを持つ子どもたちの一つの活動の場になれば』という思いで始めた活動も 8 年目。協力者になってくれている人に感謝の気持ちでいっぱいです」（子どもの暮らしと教育を考える会）などの声が寄せられています。

●新聞紙などの資源ごみは、

近所の集団回収場所に持ち寄り、リサイクルに取組みましょう。

資源ごみ集団回収活動補助金（1キロ当たり）

資源ごみの種類	補助額
新聞紙、雑誌類、段ボール、紙パック、古布類、アルミ缶、発泡トレイ、ペットボトル、卵パック、ペットボトルのふた、その他	4 円
スチール缶、金属類	9 円
びん（無色、茶色、その他色）	24 円
廃食用油	20 円
乾電池類、蛍光灯類	404 円
廃プラスチック	34 円
木くず	13 円

年度別資源ごみ集団回収量と補助金額

年度	ごみ量（トン）	補助金額（千円）
H 21	544	2,301
H 22	563	2,392
H 23	542	2,267

主な資源ごみ集団回収活動団体

団体名	行政区	代表者	回収日	回収品目	回収場所	参加条件
子どもの暮らしと教育を考える会	北黒田	渡辺いづえ	年間の計画日（古紙は土曜、古着は水曜日）	新聞紙、雑誌、段ボール、古着	代表者宅に持参と拠出協力者の各家を回り集荷	特になし
西古泉	西古泉	勝見正史	毎月第 4 日曜日 8 時～9 時 30 分	紙類とアルミ缶	ｽﾌﾞ自転車置場、西古泉公民館、上沖地区の日ボンプ小屋	西古泉の住民
恵久美資源再利用	恵久美	大西淳弘	7、12、3 月と随時	新聞、雑誌、アルミ缶、ビール酒瓶、段ボール	恵久美グラウンド	恵久美の住民
南黒田公民館	南黒田	立花勘三	年 4 回	新聞紙	区長場横	南黒田の住民
松小 PTA	筒井	篠森公治	年 5 回	古紙	松前小学校	松小 PTA 会員
松前幼稚園 PTA	北黒田	山本絵美	月 1 回火曜日	古紙	松前幼稚園	松前幼稚園児の家庭、西公民館、近所の家庭
筒井公民館環境部 筒井地区愛護部	筒井	香出克巳 遠富由香	毎月第 3 土曜日	紙類、新聞紙、雑誌類	地区内指定場所、個人宅	筒井の住民
神崎環境部	神崎	高石通	毎月第 2、4 土曜日 （他は個人で持込み）	新聞、段ボール、紙パック、雑誌類	神崎集会所	神崎の住民
西古泉愛護班	西古泉	湯淺明香	年 2 回	古紙、古本	西古泉公民館	西古泉の住民
大字出作	出作	櫻田長武	毎月第 1・3 日曜日 （雨天時翌週）	紙類、缶類、金属屑、PP キャップ	出作集会場、吉祥寺東側、沖台庚申堂前	出作の住民
松前町駅前親睦会	宗意原	河江初子	第 4 日曜日	段ボール、缶、新聞	ふれあい広場	特になし
鶴吉環境部	鶴吉	済川奏	毎月第 2 日曜日	紙類（新聞紙・牛乳パック・本雑誌・段ボール紙など）	JA 松山市農協鶴吉倉庫敷地内	鶴吉の住民
徳丸環境部	徳丸	伊藤芳幸	毎月最終日曜日	新聞紙、アルミ缶	徳丸集会所	徳丸の住民
中川原環境部	中川原	大政勉一	毎月 2 回（土・日曜日）	45 品目	リサイクルセンター中川原	中川原の住民

松前町子ども環境学園 2012

EM 菌とソーラーランタン作り・ピオトープ学習会

子どもたちが暮らしの中で環境を考えるきっかけをつくろうと、小中高校生を対象に開講している「子ども環境学園 2012」。6 月と 7 月で 2 回の講座が開かれました。



●6月9日 体験学習

松前総合文化センターで小中高校生 34 人が 2 つの体験学習にチャレンジ。1 時間目の「EM 菌作り」では、中川原環境部の加藤博徳先生から、EM 菌にまつわる水質浄化に関する話を聞いた後、水の入ったペットボトルに三温糖と EM 菌を入れて EM 菌を培養する方法を学びました。



2 時間目の「ソーラーランタン作り」では、環境コーディネーターの八束典子先生から地球温暖化防止の話を聞いた後、ペットボトルの内側を飾り、ソーラーパネルを取り付けてランタンを作り、点灯式を行いました。



80 人が熱戦を展開

第 33 回松前町ソフトテニス大会

松前町ソフトテニス大会小中学生の部は5月12日、松前中学校で、一般の部は6月10日、松前公園で行われました。結果は次のとおりです(敬称略)。

	優勝	準優勝	3 位
小・中学生	佐伯 芽依 中矢菜称子 (北伊予中)	松川 彩乃 加藤 美知 (北伊予中)	大野 小梅 河野 由佳 (松前中)
男子 A	松田 誠司 湯山 貴弘	増田 栄二 山崎 忠彦	石崎 裕二 林 正彦
男子 B	中矢 一昌 大塚 英一	青野 遼 平岡 俊介	窪田 誠 中川三千夫
女子	白川 雄己 青野 翔	篠永 哉乃 中岡 愛子	青野 愛子 勝木 庸子



リアルフリークが優勝

松前町軟式野球大会

松前町軟式野球大会は7月8、15日の両日、松前公園、松前中学校、北伊予中学校の3会場で開催され、猛暑の中、11チームが熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

優 勝 リアルフリーク

準優勝 ブレイザーズ

優勝、準優勝の両チームは、松前町を代表して、9月に伊予市しおさい公園で行われる伊予地区軟式野球大会に出場します。



スイティーが優勝

第 24 回松前町レクバレーボール大会

第24回松前町レクバレー大会は6月24日、松前公園で開かれ、7チームが参加しました。選手たちは、日ごろの練習の成果を発揮して、息の合ったコンビプレーで会場を沸かせました。結果は次のとおりです。

優勝 スイティー 準優勝 ボンバーズA 3位 ラブリーズB



㊦町内中学生による意見発表の様子 ㊧金岡紫真さん(松前中) ㊨㊩松邨美咲さん(岡田中) ㊪㊫弓達尚子さん(北伊予中) ㊬講師の梶形浩人さん



犯罪や非行のない地域目指し

第62回社会を明るくする運動「松前町大会」

第62回社会を明るくする運動「松前町大会」は7月22日、松前総合文化センターで開催され、関係団体や地域住民など約400人が参加しました。

大会では、町内中学生による意見発表が行われました。松前中学校2年生の金岡紫真さんば「みんなでつくる(明るい社会)」、岡田中学校2年生の松邨美咲さんば「言葉の不思議な力」、北伊予中学校2年生の弓達尚子さんば「言葉の大切さ」という題名で、それぞれの思いを発表しました。

記念講演では、有限会社まつやまアーツマネジメント代表取締役で劇団P.S.みそ汁定食主宰の梶形浩人さんが、「新鮮!!～面白いを見つけて景色を変えよう!」と題して、自らの体験を交えながら、軽快なトークを繰り広げました。梶形さんばコミュニケーションで大事なのは発信する側だけでなく受信する側の姿勢」と訴え、受信アンテナを立てることで、普段の生活を一層楽しいものにしようと呼び掛けました。



町内記録が 6 種目で更新

第 48 回松前町内小学校水泳記録会

第48回小学校水泳記録会は7月4日、岡田小学校プールで行われ、町内の小学6年生302人が記録へ挑みました。本年度は6種目で町内新記録が生まれました。各種目の優勝者と新記録者は次のとおりです(敬称略)。

種目	氏名	学校名	記録
75m個人メドレー男子	金子 慶紀	岡小	1分8秒1
75m個人メドレー女子	坂本 菫	松小	1分11秒1
25m平泳ぎ男子	山下 椋平	岡小	21秒7 ㊦
25m平泳ぎ女子 ①	高田 瑚弓	岡小	23秒3 ㊦
〃 ②	池内 萌菜	北小	25秒6 ㊦
25m自由形男子	大川 兼新	松小	17秒3
25m自由形女子	中矢 遥香	松小	18秒2
25m背泳ぎ男子	河上 広起	松小	24秒1
25m背泳ぎ女子	豊田 蘭	松小	24秒1
50m平泳ぎ男子	中矢 陸斗	松小	46秒9 ㊦
50m平泳ぎ女子	白石 智裕	岡小	53秒2
〃	田島 海彩	松小	〃
50m自由形男子	三好 夏輝	松小	39秒6
50m自由形女子	吉田 明生	松小	38秒3
50m背泳ぎ男子	白石 陸人	松小	46秒1
50m背泳ぎ女子	岡田 優希	松小	45秒3
100m平泳ぎ男子 ①	前橋 亮介	松小	1分43秒8 ㊦
〃 ②	二宮 良太	岡小	1分48秒3 ㊦
100m平泳ぎ女子	大政祐里奈	北小	1分41秒4
100m自由形男子	福岡 威人	岡小	1分24秒0
100m自由形女子	下岡 愛佳	松小	1分26秒9
150mメドレーリレー男子		岡小	2分8秒2
150mメドレーリレー女子		松小	2分13秒2
200mリレー男子		松小A	2分40秒6
200mリレー女子		松小A	2分41秒5



㊦最後の一かき一蹴りまで全力を尽くして ㊧緊張のスタート ㊨声を出し合い頑張ったリレー ㊩応援席では選手をタッチで迎え頑張りを称えました



雨天中止でも自主的に実施

第 43 回郷土を美しくする清掃

町内の小中学生、PTA、老人クラブや地域住民など、総勢5000人が参加して実施している「郷土を美しくする清掃」。43回目の本年は7月7日に実施予定でしたが、天候不良で中止になりました。それでも、雨の中大勢の人が自主的な清掃活動を行いました。

徳丸地区は当日の早朝、中止決定の前にコミュニティー広場を清掃。地元の子もたちが大勢参加しました。有明公園担当の大間地区も、義農神社担当の本村地区も清掃活動を通じて交流を深めました。福德泉担当の神崎地区は「子どもたちがいなくて残念だけど」、草刈りに汗を流しました。伊予農業高校は、伊予農希少植物群保全プロジェクトチームと環境開発科1年生などが塩屋海岸で流されてきた流木などを拾い、持ってきていたごみ袋をすべて使い切りました。



㊦徳丸コミュニティー広場を清掃する中学生 ㊧塩屋海岸の伊予農生 ㊨神崎地区は福德泉公園を清掃



＊瑞宝双光章【防衛功労】
大塚 知さん
おつか・さいる
元1等空尉 61歳 北川原



大塚知さんに瑞宝双光章 第18回危険業務従事者叙勲

政府は4月29日付で、危険な仕事に取組み社会に貢献した人の功績を称える「危険業務従事者叙勲」を発表しました。本町からは、元1等空尉の大塚知さん＝北川原＝が、防衛功労で瑞宝双光章を受章しました。

大塚さんは、昭和46年に航空自衛隊に入隊。山口県の防府基地に配属されて以来、人事部門を担当し、鹿児島、福岡、東京など全国各地で活躍しました。

大塚さんは受章に対し「妻のおかげ、そして、支えてくれた後輩のおかげです」と笑顔を見せていました。



④パーティーでは「おいしい」の声が
いっぱい ⑤カレー
ルーを買う4歳児
⑥配膳も自分たちで



町内の8人が受賞 第52回交通安全県民大会

「交通安全県民大会」は6月13日、ひめぎんホールで開催され、交通事故のない愛媛県を目指すことを宣言しました。また、交通安全活動に功労した個人や団体の表彰が行われ、本町から8人が受賞しました。《受賞者》(敬称略)

▶交通栄誉賞「緑十字銀賞」 吉川重一(北黒田) ▶交通栄誉賞「緑十字銅賞」 飴矢清三郎(筒井) ▶四国管区警察局長・四国交通安全協会会長連名表彰 池田正寿(徳丸) ▶県警察本部長・愛媛県交通安全協会会長連名表彰 大野育造(北黒田)、藤岡茂(宗意原)、三好一雄(北黒田)、二宮重富(西古泉)、叶田健一(大間)



⑥緑十字銀賞を受賞した
吉川重一さん



みんなで作って食べたよ 松前幼稚園カレーパーティー

松前幼稚園のカレーパーティーは6月27日、西公民館で開かれ、園児、保護者や地域の人など約180人が参加しました。

カレーパーティーは同園の恒例行事。毎年、材料には園児たちが育てたジャガイモとタマネギを使っています。今年は、他の材料も園児たちが買いに行きました。4歳児は歩いて松山生協に行き、ニンジンとカレールーを、5歳児はひまわりバスでまさき村に行き、キュウリ、レタスとミニトマトを購入。お金の大切さや公共の乗り物に乗るマナーを楽しく学びました。

当日もタマネギを収穫したり、ジャガイモの皮をむいたり園児たちは大活躍。最後は婦人会の皆さんにおいしいカレーに仕上げてもらって、みんなで食べました。

相原和奏ちゃん(5)は「みんなで作ったからおいしかったです」とにっこり。山本野乃夏ちゃん(5)は「まさき村で野菜を買うのがおもしろかったです」と話していました。



⑤「尾山賞」の賞状を手にする矢野正次さん



矢野正次さんに「尾山賞」 「小さな親切」運動30周年記念大会

「小さな親切」運動愛媛県本部(麻生俊介代表)の30周年記念大会は6月4日、松山市で開かれ、矢野正次さん＝北黒田＝に尾山賞が贈られました。同賞は、小さな親切運動を実行した個人または団体のうち、特に優れた活動に贈られるものです。

矢野さんは、39年にわたって小学生の登下校時に見守り活動を実施。そのボランティア精神と継続性が高く評価されました。



交通事故のないまちを目指して 松前町交通安全推進協議会ワークショップ

松前町交通安全推進協議会の第1回ワークショップは6月29日、松前町役場で開催され、行政、警察、交通安全関係者や各企業の代表者が一同に集まり、松前町の交通安全について話し合いました。

今回のワークショップでは、交通危険箇所の視察を行い、安全に配慮されている点、改善点や改善案を出し合うことで、今まで気がつかなかったことに「気づく」ことができました。参加者は、この「気づき」を地域の人たちに伝えることで1件でも交通事故を減らせることができればと話していました。



山口英子さんに知事表彰 県食生活改善推進連絡協議会

6月13日、ひめぎんホールで行われた「平成24年度愛媛県食生活改善推進連絡協議会総会並びに健康づくり推進大会」で、山口英子さん＝神崎＝が栄養改善事業功労者知事表彰を受賞しました。

山口さんは、松前町保健栄養推進員として、昭和58年から「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、健康づくり推進活動を行い、地域づくりに貢献しています。



⑥ひめぎんホールでの表彰式後、表彰状を手にする山口英子さん



田中安男さんが人権擁護委員新任 7月1日付で委嘱

7月1日付で、田中安男さん＝大溝＝が法務大臣から人権擁護委員に委嘱されました。人権擁護委員は、私たちの身の回りの悩みごとなどの相談に応じます。

定例の人権相談を次のとおり行っています。気軽に相談ください。相談は無料で、秘密は堅く守られます。

◆相談日時 毎月25日(25日が土・日曜日、祝日のときは翌日または翌々日) 10時～15時

◆場所 文化センター第2研修室



⑥7月1日付で、人権擁護委員に委嘱された田中安男さん



▼ 7月7日

楽しいお店にお祭り気分



黒田保育所で夕涼み会が開催され、浴衣や甚平を着た子どもたちや保護者でにぎわいました。

園児たちのダンスで華やかに夕涼み会がスタートすると、老人クラブなどの協力による出店が一斉に開店。出店を心待ちにしていた園児たちは、うれしそうに列をつくり、ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、お宝さがし、かき氷、わた菓子などを楽しんでいました。

▼ 7月6日～8日

松山空港に松前町の特産品がずらり



松前町商工会は7月6日から8日まで、松山空港ターミナルビルで「松前町物産展」を開催し、松前町の魅力を紹介しました。

松山空港ビルは、空港利用促進を目的にさまざまなイベントを開催しており、「松前物産展」もその一つ。松前町商工会は、海産珍味をはじめ、地元の農作物やスイーツなどを集めて販売。大勢の利用客が買い求めていました。

▼ 6月24日

仲良しのホストファミリー



愛媛大学留学生7人は、交流を通して日本文化を理解する授業の1つとして、まさき国際交流の会の協力で、松前町民の家庭に3日間ホームステイをしました。4月に日本に入国したばかりの留学生たち。最初は上手くコミュニケーションを取れるか不安だったようですが、最後のお別れ会では、ホストファミリーとの思い出を大切に、そして嬉しそうに語り、別れを惜しんでいました。

▼ 6月17日

松前柔道会が中国・四国大会で優勝



松前柔道会が、広島市で開かれた「第18回マルちゃん杯中国・四国少年柔道大会」で優勝し、9月17日に東京武道館で行われる全国大会への出場を決めました。

出場メンバーは、窪田彩七ちゃん(福音小6年)、田口佑太くん(松前小6年)、中矢遥香ちゃん(松前小6年)、中矢陸斗くん(松前小6年)、村田佳唯人くん(北伊予小6年)、有光恒汰くん(岡田小6年)です。

▼ 7月13日

伊予農生が役場花壇をきれいに



伊予農業高等学校の園芸流通科の3年生13人がボランティアで、役場玄関の花壇の植え替えを行いました。

小雨が降る中、生徒たちは手際よくポチュラカ約300株を植えていき、30分ほどできれいな花壇が完成しました。

夏空のもと、かわいらしく咲く花々が、役場に來た人の目を楽しませてくれています。

▼ 7月7日

地域の子育ての輪を広げよう



会員間や地域の人との交流を深めてもらおうと、まさきファミリー・サポート・センターは、松前町総合福祉センターで「七夕夏祭り交流会」を開催し、大勢の親子連れが参加しました。

参加者は午前中、サポート会員による寸劇と笹飾りづくりを満喫。午後からは、バルーンアートや輪投げなどのお店を巡りながら、楽しい七夕を過ごしていました。

▼ 6月29日

老人クラブが国道56号の花壇整備



松前校区老人クラブ(重川源会長)は、国道56号沿いの花壇に花を植えました。

同クラブは、毎年7回程度花壇の手入れを行っていて、今年で16年目。会員約90人が集まって、ポチュラカ800株とコリウス500株を丁寧に植えていきました。会員らは花がきれいに咲き並ぶ花壇を見ながら、「道行く人が和むような花をこれからも育てたい」と話していました。

▼ 6月23日

自転車の安全運転を競って



自転車の安全運転技術を競う「交通安全こども・高齢者自転車愛媛県大会」は、松前公園体育館で開催され、本町からは伊予交通安全協会チームとして、逸見勝一さん＝上高柳＝と矢野正次さん＝北黒田＝が参加しました。

二人とも、日ごろの練習の成果を十分に発揮し、体育館内に設置された自転車コースを交通安全に気をつけて慎重に運転していました。

みんなの健康を支え合う国民健康保険

国民健康保険(以下、国保)は、皆さんが病気やけがをしたとき、安心して医療を受けられるように、加入者の皆さんが国保税を納め、医療にかかる費用を皆で支えあう制度です。

●過去 4 年間の被保険者数は、ほぼ同数

グラフ1は過去5年間の国保加入者数と加入率を表しています。平成20年度からは老人保険者が後期高齢者医療制度に移行したので、国保の加入者は大幅に減少しています。また、65歳以上の退職被保険者が一般被保険者に移行したため、一般被保険者が増加し、退職被保険者が減少しています。その後23年度までの4年間の被保険者数は、ほぼ横ばいの状況です。

退職被保険者…会社などを退職し、現在国保に加入して、厚生年金などを受けられる65歳未満の被保険者とその被扶養者

●医療費は、23 年度大幅に増加

グラフ2は過去5年間の医療費と被保険者一人当たりの医療費を表しています。20年度から22年度までは減少していましたが、23年度は大幅に増加しています。今後も、国保加入者の高齢化や医療技術の高度化などにより増加することが見込まれます。

安定的な国保の運営のため、一人一人が日頃からの健康づくりと医療費を節約する上手な受診を心掛けましょう。

【23 年度の医療費】

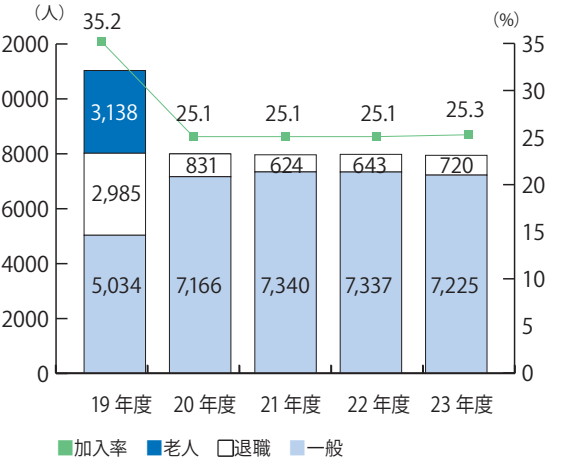
区分	件数	医療費	保険者負担額	1人当たり医療費	
				松前町	前年比
一般	113,374 件	25 億 3,875 万円	18 億 6,403 万円	35 万 1,383 円	+ 6.2%
退職	12,166 件	3 億 536 万円	2 億 1,364 万円	42 万 4,117 円	+16.2%
合計	125,540 件	28 億 4,411 万円	20 億 777 万円	35 万 7,975 円	+ 7.3%

医療費を節約するための心掛け

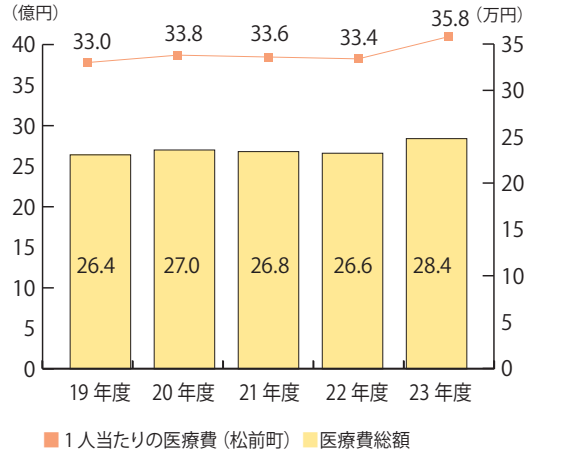
- ①定期的に健康診断を受け、病気の早期発見・治療を心掛けましょう
- ②食事の栄養バランスと摂取量に注意し、適度な運動を習慣づけましょう
- ③医療機関のかけ持ち受診はやめましょう
(お医者さんとの信頼関係を築きましょう)
- ④ジェネリック医薬品への切り替えを検討しましょう
- ⑤時間外や休日受診はなるべく避けましょう
- ⑥薬を必要以上に要求するのはやめましょう

● 保険課医療保険係 ☎ 985-4107

【グラフ1 保険者数の推移】



【グラフ2 医療費の推移】



平成 24 年度国保税の税率

本年度の国保は、医療費や後期高齢者医療制度への拠出金の増加、国保税の課税所得の低下などにより、大幅な財源不足となっています。そのため、本来なら国保税率の引上げが必要となりますが、国民健康保険財政調整基金から繰入を行うことにより、税率の引上げを行わないことにしました。

なお、今回の繰入により、基金残額がほとんどなくなることから、今後、財源不足が生じた場合は、税率の改定が必要となります。

平成 24 年度採用試験

松前町職員（一般事務（自己推薦採用））

松前消防署職員（消防士）採用試験を行います

試験区分	一般事務（自己推薦採用）	消防士
採用予定数	3人程度	1人
受験資格	■昭和54年4月2日以降に生まれた人 「自己推薦採用」 ※学歴に関係なく「広く優秀な人材」「多様な人材」を採用するため、新しい試験区分を設けました。新卒者はもちろん、社会人としての豊富な実務経験や社会福祉、介護保険、土木、建築、保健師、管理栄養士の資格などを生かし、松前町の発展のために活躍できる、意欲あふれる人材を求めます。	■昭和59年4月2日～平成7年4月1日に生まれた人 ■次の身体要件を備えている人 ・身長 ㊟おおむね160cm以上、㊤おおむね155cm以上 ・体重 ㊟おおむね50kg以上、㊤おおむね45kg以上 ・視力 両眼とも0.7以上(矯正含む)で色覚が正常である ・聴力 正常であること ・その他 伝染性疾患がない。心身ともに健康で、消防活動に十分な体力があり、高所恐怖症でないこと ■高等学校卒業程度の学力を有する人 ■普通自動車免許取得者(AT車限定を除く)または採用までに取得見込みの人。生年月日の関係で取得できない場合は、25年度中に取得できる人 ■採用後、伊予郡・伊予市内に居住できる人
1次試験	教養試験(高校卒業程度)、事務適性検査、一般性格診断検査	教養試験(高等学校卒業程度)、消防適性検査、体力検査
2次試験	口述試験、作文試験	口述試験、作文試験、身体検査
試験別必要書類	自己アピールシート ※様式は定めないのでA4版2ページまでにまとめ(パソコンで作成可)申込書と併せて提出してください。1次試験合格否の判定や2次試験の面接で参考になります。	—

※試験の詳細は、採用試験実施要領で確認してください。

●共通受験資格

- ①日本の国籍を有する人
- ②地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条各号のいずれにも該当しない人

●試験方法

第1次試験及び第2次試験とし、第2次試験は第1次試験の合格者に対して行います。

●第1次試験

日時 9月16日(日) 10時～

場所 松前町庁舎または松前総合文化センター、松前消防署

●申込書の入手方法

- ①町ホームページからダウンロード
A4両面印刷をしてください。
- ②郵送請求
封筒の表に受験したい試験区分を「一般事務(自己推薦採用)請求」「消防士請求」と朱書きし、返信用封筒(長形3号サイズ。あなたのあて先を明記し、90円切手を貼ったもの)を同封して総務課へ送ってください。
- ③窓口請求
役場総務課で交付します。

●申し込み方法

原則、郵送でお願いします。必要書類を入れた封筒の表に「受験」と朱書きし、簡易書留で総務課へ送ってください。※ホームページからは申し込みできません。《必要書類》 ①必要事項を記入した申込書(一般事務(自己推薦採用)受験者は自己アピールシートも) ②写真(3カ月以内に撮影したパスポート申請用と同規格(縦45ミリ、横35ミリ)のもの)2枚 ※1枚は申込書に貼り、もう1枚は申込書に添えて郵送 ③返信用封筒(長形3号サイズ。あなたのあて先を明記し、80円切手を貼ったもの) 申し込み受け付け後、受験票を交付します。8月24日(金)までに受験票が届かない場合は、総務課へご連絡ください。

●受付期間

8月3日(金)～16日(木) (8月16日必着)

【応募先・問い合わせ】

〒791-3192 松前町大字筒井631番地
松前町役場総務課職員係 ☎ 985-4113
(消防士の勤務内容などは松前消防署☎ 984-3404へ)

10月1日から

後納制度（国民年金保険料の納期限の延長）開始

国民年金保険料を納め忘れたまま2年を超えると、保険料を納めることができませんでしたが、10月からは過去10年分まで遡って納められるようになります。

ただし、納付期限は平成27年9月30日までの3年間だけです。

▼後納制度の対象保険料

過去10年間以内に納め忘れた（平成14年10月以降に納められなかった）保険料

※すでに高齢基礎年金の受給権を持っている人は対象外です。

▼申し込み

後納制度の利用には年金事務所での申し込みが必要です。審査の結

果、利用できない場合があります。

●国民年金保険料専用ダイヤル（8月開設予定）

☎0570-011-050

050または070から始まる電話でかける場合は

☎03-6731-2015

【受付時間】

●月～金曜日：8時30分～17時15分（月曜日が休日の場合、火曜日は19時まで）

●第2土曜日：9時30分～16時

松山西年金事務所国民年金課

☎925-5175

町民課住民係

☎985-4106

新しい保険証は届きましたか？

国民健康保険と後期高齢者医療の保険証の有効期限は7月31日です。新しい保険証を郵送しました。まだ届いていない人は、期限切れの保険証と印鑑を持って、できるだけ世帯主本人が窓口にお越しください（家族以外にはお渡しできないことがあります）。

②有効期限が異なる人もいます。
▼70歳になる人→誕生月の月末
▼75歳になる人→誕生日の前日
▼65歳になる退職被保険者とその被扶養者→退職被保険者の誕生月の月末

●保険課医療保険係

☎985-4107

町有地を売却します

下記の町有地を一般競争入札で売却します。

▼入札日 9月26日（水）

▼入札参加方法

入札参加申込書を持参か郵送（書留）で提出してください。

▼申込書配布・提出期間

8月1日（水）～9月6日（木）9時～17時（土・日曜日を除く）
※郵送の場合は、9月6日（木）17時必着

▼配布・提出場所

財政課入札検査係

☎985-4157

①所在地
②地目
③地積
④予定価格
⑤用途地域
⑥備考

物件1

①松前町大字浜字今新開781番15、16
②宅地 ③99.27㎡
④5,100,000円
⑤第1種住居地域
⑥日今新開町営住宅跡地



物件2

①松前町大字浜字東恵美洲322番1、323番2
②宅地 ③194.89㎡ ④11,771,000円
⑤商業地域 ⑥旧松前交番跡地

伊予市と松前町が共有する土地と伊予市松前町共立衛生組合が所有する、下記の町有地も一般競争入札で売却します。

申し込み方法など詳しくは伊予市ホームページをご覧ください。

▼入札日 9月25日（火）

▼受付期間

8月1日（水）～9月3日（月）の執務時間中

●伊予市総務部財務課

☎982-1111



①伊予市・松前町共有土地

①伊予市下吾川字北西原2045番18
②宅地 ③1032.49㎡
⑤工業地域

②伊予市松前町共立衛生組合所有土地

①伊予市下吾川字北西原2045番23 ②雑種地
③1411.00㎡ ⑤工業地域

松前の防災力

vol. 04

防災に関するイベント情報をお届け！
町民総参加で松前の防災力を高めよう。

▶松前町総合防災訓練

いざという時、迅速に冷静な対応をするためには、訓練を行い、実際に体験しておくことが大切です。



◎防災訓練

日時 9月2日（日） 8時30分～10時
会場 松前公園多目的広場ほか
内容 救出救助訓練、初期消火、応急救護訓練など

◎防災フェア2012

日時 9月2日（日） 10時～15時
会場 エミフルMASAKI
内容 防災に関する展示・体験コーナー
特命戦隊ゴーバスターズショー（11時～、14時～観覧無料）など

●総務課危機管理係 ☎985-4103

限度額適用・標準負担額減額認定証の更新

認定証の有効期限は7月31日までです。

▼国民健康保険の人

8月1日以降も必要な人は、保険証と印鑑を持って保険課医療保険係にお越しください。

▼後期高齢者医療制度の人

保険証と一緒に送付しました。

※23年8月1日以降で、入院日数が90日を超える人は領収書などが必要な場合があります。町民税の課税世帯の一部と、国保税や後期高齢者医療保険料の納め忘れがある人は発行できません。

●保険課医療保険係

☎985-4107

知っていますか？

児童扶養手当・特別児童扶養手当

■児童扶養手当とは？ ☆24年8月から支給要件が一部変わりました。

次の条件にあてはまる児童(18歳に達する日以後、最初の3月31日までの間にあるもの、障がいのある場合は20歳未満)を監護している父または母(父の場合は、生計を同じくしていることが必要)または父母に代わってその児童を養育している養育者に支給する手当です。

①父母が離婚した ②父または母が死亡した ③父または母に重度の障がいがある
④父または母の生死が明らかでない ⑤父または母から引き続き1年以上遺棄されている
⑥父または母が裁判所からのDV保護命令を受けた（新規）
⑦父または母が引き続き1年以上拘禁されている
⑧母が婚姻によらないで懐胎した ⑨父母ともに不明である

手当を受給するには▶▶役場への申請が必要です。認定されると、申請月の翌月分から⑥に該当する人で8月1日に支給対象になった人が8月中に申請した場合は8月分から）受給できます。他にも受給要件や所得制限などがあります。早めにお問い合わせください。 ●福祉課児童福祉係 ☎985-4114

■特別児童扶養手当とは？

20歳未満の心身に障がいのある児童を監護している父母または養育者に支給します。障がいを事由とする年金を受給していないこと、対象児童が施設などに入所していないことなどの条件や所得制限があります。

●福祉課障がい福祉係 ☎985-4155

まさき文化祭作品募集

10月27日(土)・28日(日)、松前総合文化センターを主会場に開催する「第37回まさき文化祭」の作品展作品を募集します。個人やグループでぜひ出展してください。

▼募集品目・規格

日本画(軸表装か額装20号以内)
洋画(額装20号以内)
写真(4切以内、ワイド4切可)
書道(軸表装か額装半折以内)
短歌(色紙かけ)
俳句・川柳(短冊に限る)
絵手紙、人形、手芸、陶芸、その他
※作品は1人1点とします。



▼申込期間

8月1日(水)～8月31日(金)
平日9時～17時

▼申込先

松前総合文化センター

☎ 985-4139

80歳以上で20本以上歯を持つ皆さん

元気歯つらつコンクールにご応募ください

県は、80歳で20本以上自分の歯を保つことを目標に、歯の健康づくり運動8020(ハチマル・ニイマル)運動を進めています。この運動の一つとして、「元気歯つらつコンクール」を開催します。

▼対象者(全て満たす人)

①平成24年4月1日現在、満80歳以上の人

②しっかりかめる自分の歯が20本以上ある人
③これまで同コンクールの受賞歴(入賞含む)がない人
④11月に予定している表彰式に参加できる人

▼締め切り

8月13日(月)

▼申込先

健康課保健センター係

☎ 985-4118

浄化槽の管理者はあなたです

浄化槽は、台所などから出る汚水をきれいにする施設です。機能が発揮されないと、汚れた水が流れたり、悪臭が発生したり環境に悪影響を与えます。浄化槽管理者(設置者)は、浄化槽法で「保守点検」「清掃」「法定検査」を行うことが義務付けられています。

①保守点検

保守点検業者が定期的に、浄化槽の運転状況の確認や機械の修理、消毒剤の補充などを行います。

②清掃

浄化槽清掃業者が通常一年に1回、浄化槽にたまった汚泥などを引き出し、装置を洗浄します。

③法定検査

(社)愛媛県浄化槽協会が、点検や清掃が行われているか、浄化槽が正常に機能しているかなどを検査します。浄化槽を設置したときに行う7条検査と、設置後、毎年行う11条検査があります。

問(社)愛媛県浄化槽協会

☎ 925-2661

◎浄化槽設置整備事業補助金

下水道事業認可区域以外の地域に住宅用の浄化槽を設置する場合、費用の一部を補助します。詳しくはお問い合わせください。

問上下水道課下水道業務係

☎ 985-4126

病害虫や雑草の被害が増える時期
水稻一斉防除にご協力を

【水稻生産者の皆さんへ】

農業散布時は、民家などに飛び散らないよう種類、使用量や風向きなどを確認しましょう。

▼一斉防除日

▼極早生品種(あきたこまち、コシヒカリなど)：8月5日(日)
▼中生品種(ヒノヒカリ、モチなど)：8月25日(土)

▼無人ヘリコプターによる防除

下記の日程で行います。
※農業安全基準を守り、安心・安全を第一に実施します。

【対象地区に住んでいる皆さんへ】

●立札の立っている圃場周辺には駐車しないでください。

8	3	金	大間
	4	土	大間(中川原)
	6	月	中川原、徳丸
	7	火	徳丸、出作、神崎
	9	木	南黒田、恵久美、鶴吉
	11	土	東古泉
	13	月	永田
	14	火	大溝
	15	水	横田
	21	火	北黒田
	22	水	南黒田

※雨天順延(小雨決行)です。

●散布地区付近の人は洗濯物、ベットなどは散布が終了するまで出さないでください。散布時は念のため窓を閉めておいてください。

問J A松山市営農販売部

☎ 946-1611

産業課農業係

☎ 985-4119

松前総合文化センター
松前公園の指定管理者を
募集します

指定管理者制度とは?

文化センターや体育館など、公の施設の管理運営に民間の能力を活用して、サービスの向上と経費節減を図る制度です。町は、次の施設の指定管理者を公募します。

●募集施設

①松前総合文化センター



②松前公園



●指定予定期間

平成25年4月1日～28年3月31日

●応募資格

団体であること
(法人の有無は問いません)

●募集要項の入手方法

8月20日から各担当課で配布します(平日の8時30分～17時15分)。町ホームページからダウンロードすることもできます。
※施設内容などの説明会については、募集要項をご覧ください。

●募集期間

9月10日(月)～10月10日(水)

問松前総合文化センターについて
社会教育課文化センター係

☎ 985-4139

松前公園について
まちづくり課管理係

☎ 985-4156

③県と県地球温暖化防止活動推進センターが行う事業に協力できる

②満18歳以上（高校生を除く）で県内在住

①地球温暖化の防止活動に熱意と見識がある

愛媛県地球温暖化防止活動推進員

地球温暖化防止活動のリーダーとして、地域で地球温暖化防止に関するアドバイスなどを行う推進員を随時募集しています。

▼応募資格（全て満たす人）

①地球温暖化の防止活動に熱意と見識がある

②満18歳以上（高校生を除く）で県内在住

③県と県地球温暖化防止活動推進センターが行う事業に協力できる

※県種目協会に登録している人（A級リーグ登録者）不可

▼申込期限 8月20日（月）17時

▼代表者会 日時：8月29日（水）19時

▼場所 場所：松前総合文化センター12階第2研修室

▼松前町体育協会事務局（松前公園体育館内）

☎985―4138

募集

第7回松前町ソフトボール大会

▼日時 9月9日（日）9時～

※予備日 9月16日（日）

▼場所 松前公園多目的広場

▼参加資格 町内に在住または在勤している人（9人以上15人以内）

※学生・生徒不可

※県種目協会に登録している人（A級リーグ登録者）不可

▼申込期限 8月20日（月）17時

▼代表者会 日時：8月29日（水）19時

▼場所 場所：松前総合文化センター12階第2研修室

▼松前町体育協会事務局（松前公園体育館内）

☎985―4138

消費力アップ通信

「火災保険使えます」という住宅修理契約トラブルに注意！

相談事例

住宅リフォーム業者が来訪し、「自然災害でどこか傷んでいないか。火災保険を使って住宅修理ができる。無料で保険申請を手伝うので、保険金が出たら補修工事をさせてほしい」と勧誘を受けた。

保険金が出るようになったが、工事前に解約しようとしたところ、保険金の50%の解約料を取られることが分かった。

アドバイス

- 工事内容がずさんだったり、必要のない修理までされたり、契約を結んだものの保険金が出なかったりするなどのトラブルが起きています。
- 自然災害で住宅が損害を受けたら、まずは損害保険会社に保険金支払い対象、申請方法などについて確認しましょう。また、工事を依頼する時は、複数業者から見積もりを取りましょう。

安心して役場の相談窓口にご相談ください！

相談は秘密厳守。匿名でも相談できます。情報提供も受付中です。

▷消費者ホットライン ☎ 0570-064-370

▷消費生活相談窓口（産業課内） ☎ 985-4120

毎週火曜日は専門の相談員が対応します。

▼任期 委嘱の日から平成26年6月30日まで

▼応募方法 応募用紙を県ホームページ（<http://www.pref.ehime.jp/kankyoku/k-hp/index.html>）からダウンロードし、必要事項を記入して提出してください。

▼提出先 〒790―8570 松山市一番町4―4―2 県民環境部環境局 環境政策課温暖化企画係

お知らせ

Eメール kankyoku@pref.ehime.jp

☎912―2351

働く人の心の健康に関するポータルサイト
こころの耳

こころの耳は、厚生労働省の委託を受けて運営している、働く人に向けたメンタルヘルス・ポータルサイトです。

ルサイトです。あなたの力になる場所や人を探して、心の健康の確保と自殺や過労死を予防しましょう。事業者や上司、同僚、産業医などの働く人を支援する人にも役立つ情報があります。

●社団法人日本産業カウンセラー協会 こころの耳ポータルサイト運営事務局

Eメール kokoro@counselor.or.jp <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

水の事故を防ごう

消防署だより

松前消防署 ☎ 984-3404

夏休みにはバーベキュー、キャンプや魚釣りなど、海や川へ遊びに行く機会が増えると思います。

暑い季節の水遊びは楽しい行事ですが、毎年全国で悲しい水の事故が発生しています。水の事故を防ぐためにはどうすればよいか、事故が起きた時どうすればよいか、お話しします。

《水の事故を防ぐには》

水難事故で死亡している人のうち約8割が「泳ぎに行った時以外に事故に遭った」というデータが出ています。逆に言うと、プールや海水浴場で死亡したというのは全体の約2割と少数です。なぜでしょうか。それは溺れた時の服装に大きな違いがあります。

服を着ていると泳ぎにくくなります。この状態で無理に泳ごうとするとパニックになり、体力の消耗につながります。

まずは冷静に状況を判断するため、仰向けになり、大の字の体勢を作りましょう。こうすることで、長時間浮くことが出来ます。その間に助けを呼んだり、浮かんでいる流木やペットボトルに掴まったりして、助けを待ちましょう。

《溺れている人を見つけたら》

●まずは助けを呼ぶ

溺れた人を見つけたら、さっと上着を脱いで飛び込む…ドラマなどでよく目にするシーンですが、実際には一番やってはいけない救助法です。慌てた対応で二重遭難・二次災害の発生リスクが

高まるからです。遭難者はたいていパニック状態のため、救助者にしがみつこうとしたり暴れたりするのが普通です。そのため、泳ぎに自信のある人でも、泳いで救助するのは非常に危険なのです。

●身近なものを使うか素手で

引き込まれないように岸に腹ばいになり、手をのばして引き寄せます。手が届きそう

がない時は、自分のシャツやベルトをとって、あるいは身近にある棒、板きれ、縄などにつかまらせて引き寄せます。



●道具を使って



浮輪やペットボトルはもちろん、ふたを閉めたクーラーボックス、大きく膨

らませたごみ袋なども効果的です。それらをしっかりとロープで結び、下手投げで溺れている人の後方に落ちるように投げます。しっかりとつかまったのを確認してから、静かに引き寄せます。

●通報も忘れずに

溺れている人を見つけた時は、海の場合は海上保安庁118番へ、川や池の場合は消防署119番へ通報してください。



6月20日の大溝分館を皮切りに、9地区の分館で地域住民を対象に青少年健全育成事業を行います。啓発映画「ケータイトラブル」を見た後、北伊予小・中学校の先生から講話があります。ある地区での校長先生の講話では「ことばのちから」と題して三行詩を紹介していました。「『いつてらっしゃい』門に立って送り出すでも、すぐに家には入らないあの角であたがもう一度、振り返るのを知っているから」この光景、胸にジーンときませんか？ところで、校長先生と教頭先生の間で、この関係は「親と子」それとも「夫と妻」か意見が分かれたました。皆さんは、どちらだと思えますか？

東公民館

分館家庭教育学級

神崎210
984-1159

西公民館

青少年育成会総会

北黒田966-2
984-5313

6月13日、松前校区青少年育成会総会が開催されました。研修では、伊予警察署生活安全課の宮本孝子さんに「子どもの非行防止について」と題して講演していただきました。その中から「非行にならない子の特長」4点を紹介します。①長く打ち込む活動をしている子(部活・趣味など)②目標と目標達成意欲をもっている子(〇〇大会で入賞するなど)③親への愛着・愛情をもっている子(家族の力)④よい自己概念・イメージをもっている子(地域の人からも自分も・地域の活動に巻き込む・ボランティア活動など)参加者は、熱心にメモを取りながら講話に聴き入っていました。

こわいおはなしかい

日時 8月7日(火) 17時30分
場所 文化センター2階
ふれあい展示室

小学生から大人まで楽しめるおはなしかい。暑い夏の日、こわいおはなしを聞きにきませんか。

8月のふるさとライブラリー

開館時間 9時30分～19時
休館日 8月31日(金)

- 8月の新刊
- ◆十津川直子の事件簿／西村 京太郎
 - ◆ハーバード白熱日本史教室／北川 智子
 - ◆上昇思考／長友 佑都
 - ◆夜の国のクーパー／伊坂 幸太郎
 - ◆岳飛伝 1／北方 謙三
 - ◆光／道尾 秀介
 - ◆ももこのまんねん日記 2012／さくら ももこ
 - ◆魔境の女王陛下／田中 芳樹
- ※この他にもたくさんのおはなしが入っています。

図書館

筒井633
985-4140

松前町ふるさと
ライブラリー

一般書

置かれた場所で咲きなさい
渡辺 和子 著 / 幻冬舎

どんな花でも咲けない日があります。その時は、根を下へ下へと降ろしましょう。辛い日々も笑える日につながっているのです…。ノートルダム清心学園理事長が和らぎの言葉を紹介。

一般書

夜をぶっとばせ
井上 荒野 著 / 朝日新聞出版

どうしたら夫と結婚せずにすんだのだろう。「思い切ったこと」がしたくなったある夜、ネットの掲示板に書き込んだことで、たまきの日々は「何かが決定的に」変わり始める…。

児童書

はなかつぱとはねかつぱ
あきやま ただし 作・絵 /
メディアファクトリー

はなかつぱは、自分とそっくりな男の子、はねかつぱのはねろうに出会い、友だちになりました。二人は、ピンチにおちいった、はねかつぱの村を救うことができるのでしょうか…。

絵本

ねこざかなのすいか
わたなべ ゆういち 作・絵 /
フレーベル館

ねこざかなが海辺で遊んでいると、大きなスイカが流れてきました。かばの親子と一緒にスイカをパカッと割って、食べ終えたそのとき…!?とびだすしかけ絵本。

高齢者と熱中症

室温や気温が高い中で作業や運動をすると、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調整が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるいなど熱中症の症状を引き起こします。特に高齢者は、次の理由により自覚がなく熱中症になる危険性が高いです。

①体内の水分不足…高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない

②感覚機能の低下…暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなる

③体の調整機能の低下…体に熱がたまりやすい

◆熱中症予防のポイント

- ・室温が28度を超えないように、部屋の温度、風通しをこまめにチェックする。
- ・1日に1.5リットル以上(食事以外で)水分を摂取できるように、こまめに水分補給する。
- ・寝る前に枕元に水分を置いておく。
- ・暑い日中の外出は控え、外出するときは涼しい服装で、直射日光にあたらない。

熱中症患者のおよそ半数は高齢者です。「暑さに強いから、室内にいるから」といった認識でいると熱中症を引き起こします。熱中症対策には、水分補給と涼しい環境を作ることが何よりも大切です。

包括支援

筒井710-1
985-4205

松前町地域包括
支援センター

6月28日、放課後子ども教室「おかだつ子広場」がスタートしました。

この日の活動内容は七夕飾り。その後、出来上がった笹飾りをバックに記念撮影です。前列はもちろん、岡田小学校の1・2年生34人。その子どもたちを取り巻くのは、保護者・地域実行委員会(写真)・学習アドバイザー・安全管理員・社会教育課の皆さんです。このように多くの人々の協力を得て、安心・安全の場で活動が展開できることを感謝しています。

子どもたちに寄せる地域の思いが、ずっと続いていきますように。また、短冊に書かれたたくさんの願いが、一つでも多く叶えられますように。

北公民館

おかだつ子広場

昌農内456-1
984-7529

ふるさと歴史散歩⁸⁷

～松前史談会レポート～

松前町の水源地・泉めぐり

ひょこたん池公園から中川原橋を渡って、松山市のかきつばた浄水場へ向かった。杜若泉は、水利権を放棄した昭和27年まで、中川原村の水源地として長らく30町歩の水田を支えてきた。

現存文書では、1738年からの記録が残されている。伊予川の下流域12kmの固定化にともない、杜若泉からの用水路は河道により分断された。水利権のある水田の用水は、杜若泉から横井出用水樋門へと続く重信川を横断する水路を通ることになった。横断水路の規模は、幅1間、深さ5尺であったという。重信川の洪水で横井出堀や杜若泉は破壊されるので、修復には膨大な労力と出費がかさんだ。(本多文書、松前史談16号参照)

重信川に沿って、松山市の水源地・浄水場や泉が数多くあるが、“お茶屋水源地”は、土佐街道における藩主の休憩所(お茶屋)跡を示す地名遺跡である。土手に上ると、森松泉からの水を徳丸へ導く暗渠の松山側施設から、出口のある対岸の矢倉地区の雄大な景観を望むことができる。三島神社が目印である。近くには、“松山札の辻より2里”と“大洲宇和島道・さぬきみち川上へ三里”と読める古い石柱が2本立っていた。

以下は次号。

❶ 札の辻からの里程標と道しるべ。後方は国道33号線の高架

❷ かきつばた浄水場前の小公園。きれいな水が印象的



8月のふるさと歴史散歩は休みます。

Ⓜ 松前史談会(鷺野) ☎ 984-5439

Boys&Girls, Be Ambitious!

頑張る子どもたちを紹介します



ピティナピアノコンペティションで優秀賞

重川 美那 ちゃん **戒井 佑見** ちゃん
Shigekawa Mina Ebisui Yumi
岡田小4年・昌農内 岡田小4年・西古泉

岡田小学校4年生の重川美那ちゃんと戒井佑見ちゃん。7月7日に松山市で行われた「ピティナピアノコンペティション(社団法人全日本ピアノ指導者協会主催)」の地区予選で優秀賞に輝き、四国大会への切符を手に入れました。

同大会は、参加者が日本全国で3万人を超える日本最大のピアノのコンクールです。二人はソロ部門で小学4年生以下対象のB級に出場。堂々とした演奏を披露しました。美那ちゃんの演奏曲は、『ソナチネ』と『タンブラー』。「落ち着いて演奏できました。四国大会はホールが広いので音をきれいに響かせられるように演奏したい」とにつこり。『メヌエット』と『小さい舟歌』を弾いた佑見ちゃんは、「どんな曲かイメージして感情を込めて弾きました。練習の成果が出せてうれしい」と話していました。

「ピアノは心を豊かにしてくれる」と話す二人。美那ちゃんは「辻井伸行さんみたいに素敵な演奏ができるように頑張りたい」と、佑見ちゃんは「ピアノだけでなく、いろんなことができる人になりたい」と瞳を輝かせていました。



ひだ こうた
檜田 幸汰 くん

新立
平成23年8月7日生
(父) 伸一朗さん (母) 和美さん

1歳のお誕生日おめでとう!
素敵な笑顔を忘れないでね♡



うえだ りほ
上田 莉穂 ちゃん

塩屋
平成23年8月20日生
(父) 修さん (母) 和菜さん

大好きな莉穂ちゃん♡毎日たくさん
の幸せをありがとう!



ふくおか ひろと
福岡 祐人 くん

宗意原
平成23年8月17日生
(父) 大さん (母) 和巳さん

元気いっぱいな祐人君。沢山
パパ&ママと思い出作ろうね



とよさと しょうた
豊郷 勝大 くん

西高柳
平成23年8月7日生
(父) 正信さん (母) 圭子さん

元気にすくすく育つてね。



あいばら
相原 そら ちゃん

筒井
平成23年8月3日生
(父) 啓司さん (母) ふみさん

いつも笑顔で優しい女の子に
育つてね。



なかぞえ さき
中越 咲希 ちゃん

神崎
平成23年8月14日生
(父) 健浩さん (母) こずえさん

咲希ちゃん大好き。産まれて
きてくれてありがとう。



10月に1歳になるお子さん募集

背景が明るい横長の写真(デジタルデータも可)を持参してください。*先着6人です。
募集期間 8月1日(※)～8月15日(※) ▶総務課広報情報係 ☎ 985-4132

食育メニューコンクール入賞作品レシピ

※
入賞

枝豆と鶏ミンチの肉だんご



エネルギー 245kcal

■材料 1人分

鶏ミンチ……………32g
枝豆(塩ゆでむき身)…25g
ごま……………12.5g
卵……………1/4個
みそ……………大1/4
砂糖……………大1/2

■作り方

①枝豆の薄皮をとって、小さく切る。
②材料をすべて混ぜる。
③スプーンを使って落としあげにする。

※本人からの申し出により削除
(2021年11月)

岡田中1年

■コメント

麦みそと砂糖の甘辛い味付けにしたので、子どもでも大人でもおいしく食べられます。

行 会 ってこーわい ってこーわい

「まさきふれあい市」

まちなか朝市で
商店街を活性化

No. 47

毎月第1土曜日の朝(8時30分から)、ふれあい広場で開催されている「まさきふれあい市」。朝から大勢の人でにぎわっています。商店街を活性化しようと松前町商工会が始めたもので、今年で3年目です。会場には、地元業者が集結して、地元の新鮮野菜や果物、総菜やちりめんなどがずらり。その他にも、手作りの小物や余剰品などを販売するグループもあり、さまざまな商品が彩り豊かに並びます。

「おはよう」「寄ってって」と出店者の声が広場に響くと、その声につられるように、地域の皆さんがふれあい市へ。「今日は少し客が少ないな」と商工会職員は話していましたが、終了を待たずに売り切れてしまう店舗もあるほど、にぎわいを見せていました。

近所の女性たちで構成する「ふれあいなかよしクラブ」は、しょうゆ餅、草餅、山菜おこわなどを手作りして販売しています。メンバーの富岡ズエさんは「普段会えない人に会えたり、お友達とお話できたりしてうれしい。毎月楽しみです」とにっこり。「ふれあい市」の名前の通り、地域住民同士の交流の場としての一面も垣間見える朝市です。



- 1 お買い物と一緒に会話を
楽しむ皆さん
- 2 朝市には新鮮な野菜や果
物がたくさん

8月4日(土)は休みです。
次回は9月1日(土)
8時30分からです。

編集後記

特集「平和のバトン」の作成では、たくさんの人に協力していただきました。「子どもたちのためなら」とインタビュアーを受けていただいた皆さんは、それぞれの戦争体験を、涙ながらに話してくださいました。平和のバトンをつないでいきたい。それだけです。読者の皆さんが何かを感じ、考えてくれると信じて。

(高橋)

4年に1度しかないのに、私たちの心はこんなにもワクワクし、注目してしまします。たくさん日本人が夢を与えてくれるオリンピックが開幕しました。そして、終了後の8月15日には、日本は67度目の終戦記念日を迎えます。毎年ある行事なのに、私たちは注目しなくなっています。当たら前に思っていない。皆さんの日本人の犠牲により与えられた平和の意味を、1年に1度ぐらいいはしっかりと注目してみましよう。(松田)

Proud!
Japan

※日本水産加工振興会より

「松前町淡水魚展」開催中!

松前町で生息する淡水魚の展示を、庁舎1階ロビーで行っています。ぜひ見に来てください。

❖展示期間 8月13日(月)まで

問町民課ごみ対策係 ☎985-4117

